みどりの女神が行く！

ミス日本みどりの女神
井戸川 百花（いどがわ ももか）

▲2020東北地方林業成長産業化地域サミットにて（※２月22日開催）

皆様こんにちは。２０２０ミス日本みどりの女神の井戸川百花です。

新型コロナウイルスの影響でイベントが中止や延期となり、とても残念な気持ちでおります。オリンピック延期となりましたが、開催された時には外国の方々に新国立競技場をはじめ、木を取り入れた日本の素晴らしさをどんどん広めていければ良いですね。

林業成長産業化のために「ウッドチェンジ」

秋田県大館市で開催された２０２０東北地方林業成長産業化地域サミットに参加して参りました。

「秋田県大館北秋田地域」、「山形県最上・金山地域」、「福島県南会津地域」の現状課題への取り組みや成果を伺いました。秋田県では伐採と利活用、再造林という資源循環に適した状況にあるにも関わらず、再造林率が1割程度という現状があるそうです。解決のために、川上から川下までの事業者が組織として連携することでスギの製品を東京に供給するなど一貫した体制を構築しているそうです。また秋田スギのＰＲを図るために地域住民を対象としたワークショップ等のイベントを開催したり、外国人向けの大館曲げわっぱ製作体験などのＡＫＩＴＡＳＵＧＩツーリズムを実施したりしているそうです。

それぞれの地域において難しい課題を抱えながら林業成長に懸命に努力なさっていることを知り、手先の器用さを生かした私の趣味である物作りを通して、木が使用されている全国の伝統工芸品の製作体験に伺い、奥深さや大変さ、その中にある楽しさなど伝統工芸品ならでは魅力を自らの体験を通して広く発信したいと思いました。そして地方の林業発展や経済発展のお手伝いをさせていただけたらと思いました。

みどりの女神として改めて頑張らねばならないと思った学びがあります。それは林業成長産業化のために消費者の行動の変化を促す「ウッドチェンジ」です。

例えば建築物のウッドチェンジを促すために「最近の木造における耐震耐火技術の向上など、イメージを変えることが必要」というお話を伺いました。若者が集まる場所に木造のおしゃれなカフェやレストランを建設し、ＳＮＳの力も利用しながら、木や木造の良さを広く伝え、木質化を促すきっかけになればいいと考えました。

美しい木の文化・新しい木材利用を発信し続けたい

続いて大館市が誇る、樹齢60年以上の秋田杉２５，０００本が使用されたニプロハチ公ドームを視察しました。

木から生まれる柔らかな曲線と風合いがとても素晴らしく圧巻でした。

大館工芸社やワッパビルジングでは今なお愛され続ける曲げわっぱの熟練した技術に触れ、地方の伝統工芸品の素晴らしさに感心致しました。私は手先の器用さには、すこし、自信があります。工芸品が積み重ねてきた細かいこだわりを、是非国内外の方々に紹介したいと思いました。

秋田県は私の母の出身であり、大館市は祖父の生まれ育ちの場所です。ここで私自身もみどりの女神として出発点に立ったような思いが致しました。今回の遠征で感じたことは、その土地その土地でまだ知られていない木工芸品や木を使用した建築物が多くあるということです。みどりの女神、みどりの広報大使として日本の美しい木の文化や新しい木材利用の現状をお伝えし、情報発信し続けます。

▲ニプロハチ公ドーム見学